



卓球みなと

第4号
令和7年(2025年)
3月(早春号)
港区卓球連盟広報

港区卓球選手権

尾本(好卓会) 男子三種目を制覇



三冠を達成した
尾本選手(好卓会)

港区卓球選手権は1月26日(日)スポーツセンターにおいて男女シングルス及びダブルス5種目の頂点を目指し熱戦が展開された。本大会において尾本選手(好卓会)が男子3種目を制覇し見事三冠王を達成しました。シングルスでは、鷹瀬選手(FALCONS)の力強いボールを田熟したペレードかわし、3対0のストレートで勝利。男子ダブルスは、同じ好卓会の竹田選手と組み、変化にとんだパンチングで浅井(アクティブ)・徳留選手(のまつ)・谷口(ラブ)組を3対1で撃破し、混合ダブルスは長谷川選手(BEANS)と組んで昨年3位の着地にかけ優勝を目指し、上ハイブマンとカットマンの戦型違いをうまく利用し、竹田選手(好卓会)・谷口選手(東友会)組を破り、三種目制覇となりました。女子一般シングルスでは永嶋選手(高輪フレンズ)が多くの中若手選手を抑え見事栄冠を獲得。女子ダブルスでは、鈴木選手・谷口選

手組(東友会)が岡本選手・長谷川選手組(BEANS)のカットと堅い守りを打ち抜かれ、勝利をつかんだ。

なお、この種目では津田沙矢香選手と沙桜里選手(古河産業)の親子ペアーが鳴我部選手・稻葉選手(Jiva☆Jiba)の若手ペアーに勝利し、堂々3位に入賞しました。津田沙桜里選手は小学生で連覇の入賞記録では最年少となりました。

また出場したい
建田沙桜里(古河産業)

に入れてもらい練習しています。このような大会に参加させてもらい楽しくそしてもうと強くなり、またこの大会に出場したいです。

優勝者一覧

男子シングルス	尾本(好卓会)
女子シングルス	永嶋(高輪フレンズ)
男子ダブルス	尾本(好卓会) 竹田(好卓会)
女子ダブルス	鈴木(東友会) 谷口(東友会)
混合ダブルス	尾本(好卓会) 長谷川(BEANS)



混合ダブルス優勝
尾本選手・長谷川選手(BEANS)



男子ダブルス優勝
尾本選手・竹田選手(好卓会)



女子シングルス優勝
永嶋選手(高輪フレンズ)



女子ダブルス優勝
鈴木選手・谷口選手(東友会)



新春に躍動する小中高生

令和6年度ジュニア卓球大会



女子高校生入賞者一同



女子中学生以下入賞者一同

港区体育協会及び東京都スポーツ協会主催の小・中・高校生を対象とした「ジュニア育成地域推進事業」である令和6年度、ジュニア卓球大会が1月12日港区卓球連盟が主管し、スポーツセンターで開催さ

れた。当日は、港区を始め近隣地域の小・中・高校生を集め、日頃のクラブ活動の成果を競つた。会場には多くの指導者や保護者等

上位を独占、高校女子は小松川と東海大高輪・浦安、女子中学以下は瑞江第三中が3名が入賞を果たしたが、男子中学以下は全て学校が異なる選手が上位を占めた。



男子中学生以下入賞者一同

令和6年度後期港区クラス別男子リーグ戦

1部 麻布がまクラブ(A)初優勝



嬉しい初優勝: 麻布がまクラブの面々

男子後期リーグ戦は2月9日、港区スポーツセンターにおいて、69チームが参集し熱気溢れる戦いが繰り広げられた。多くの登録チームが参加した本リーグは、1部から4部、5部が3ブロック、6部が6ブロックの6クラス13ブロックに編成され、棄権チームもなく盛況裡に終了した。試合結果は、

前期リーグで2部優勝を果たした麻布がまクラブ(A)が1部初昇格にもかかわらず若手の穴のないオーダーで1部常連チームを撃破し、見事優勝を飾った。

2部から4部は6チーム編成であったが、2部はBEANS(A)が5戦全勝、3部は2シングルリーグ戦を欠場していたオーシャンCが実力を発揮し5戦全勝で優勝を飾った。4部はのろまっこクラブが長谷工(A)と4勝1敗で並んだが、相対でのろまっこクラブが辛勝。5～6部は武士道組の3チームが5部

(A)、5部(C)、6部(F)の各ブロックで全て優勝をさらう大活躍が特筆される。次回リーグ戦の各チームの奮闘が大いに期待される本大会である。

今年度の前期リーグ戦で2部で優勝することでき、後期は念願の一部で戦うことができました。これも若手選手の活躍と頑張りがあつての一言に尽きます。

そもそもまさか本大会で一部優勝という素晴らしい成績は、言葉ではいいあらわせないほど嬉しいです。頑

張って頂いた選手、応援して頂いた皆様に感謝しつつ、次期リーグ戦にも連覇を目指していきたいと思います。

麻布がまクラブ
山本純ノ介 監督



お見事!
3チーム全て優勝

令和6年度男子後期リーグ戦優勝チーム

クラス	優勝チーム
1部	麻布がまクラブ
2部	BEANS(A)
3部	オーシャンクラブC
4部	のろまっこクラブ
5部A	武士道組(A)
5部B	浅草オヤジ卓球サロン
5部C	武士道組(B)
6部A	港区杉卓会(B)
6部B	あすなろ(B)
6部C	Accenture(A)
6部D	NTT(C)
6部E	テクマトリックス(C)
6部F	武士道組(C)

オール世代がオレハジボールを追う

～令和6年度港区ラージボーラー・オープン卓球大会～



男女シングルスは10種目に分かれそれぞれ頂点を目指しましたが、他の大会で常に上位を占める選手が順位に優勝を飾りました。決勝トーナメントの各試合は長いラリーが続き、1ポイントを獲得するため、皆さん苦労していました。観る側には大きな感動を与える場面も多く見られ、ラジの素晴らしさを再認識しました。結果は下表のとおり。

119歳以下では28組の参加があり素晴らしいラリーの応酬が各コートで見られたが若い庄下・若杉組が優勝を飾った。また、混合とはいって、女性だけでダブルスを組んだ奥山・木村組が見事準優勝に輝いた。

	種目	参加数	優勝者
男子シングルス	59歳以下	65	石田(Team JOOLA)
	60歳以上	19	大津(常北クラブ)
	70歳以上	12	木村(チーム桂川)
	75歳以上	10	山下(西麻布クラブ)
	80歳以上	10	新井(植水クラブ)
女子シングルス	59歳以下	28	奥山(ニッタクサンフレンド)
	60歳以上	16	脇山(NTC)
	70歳以上	10	久我(キャツツ)
	75歳以上	5	北川(たんぽぽ)
	80歳以上	6	伊藤(オリオンクラブ)
混合ダブルス	119歳以下	28	庄下・若杉 (TEAM JOOLA)
	120歳以上	13	大津・山本 (常北クラブ)
	140歳以上	9	宮脇・久我 (キャツツ)
	150歳以上	11	大泉・三ツ本 (九十九会)
	160歳以上	6	大沼(小金井卓連) 高松(ウィング)



令和6年度後期女子クラス別リーグ戦

令和6年度後期女子クラス別リーグ戦

令和6年度後期女子クラブ別リーグ戦は3月9日、港区スポーツセンターで開催された。

参加チームは33チームと、女子登録チームののほとんどが参加し、熱戦が展開された。

1部 優勝 さつき

2部 優勝 BEANS(A)

4部 優勝 芝浦SG

3部 優勝 卓愛会A

5部B 優勝 レイヴ(B)

5部A 優勝 プルメリア

に返り咲いた。カット、オーランドの選手がそれぞれの持ち味を出し、全員で優勝を勝ち取った。

2部は、令和6年度前期リーグ戦に出場していれば1部昇格であつたが、欠場したため今回も2部編成となつたBEANS(A)が、若手選手を揃え5戦全

勝で優勝を飾り、来期1部昇格を果たした。
女子後期クラス別リーグ戦の各クラスの成績表は下記の通り。



令和6年度女子後期リーグ戦成績表

クラス	優勝	2位	3位	4位	5位	6位
1部	さつき	あじさいパールA	東友会	Jiva☆Jiba	レイヴ(A)	
2部	BEANS(A)	テクマトリックス	オーシャンクラブ	青天クラブ	HAPPY	西麻布クラブ
3部	卓愛会A	BEANS(B)	狸穴クラブ	あじさいルビ-	HELMI	
4部	芝浦SG	あじさいパールB	STC(A)	好卓会	はぴぽん♪	さつき会(A)
5部A	プルメリア	さつき会(B)	ラブオール(A)	東戸塚CC	スマッシュ卓球クラブ	あつぶる
5部B	レイヴ(B)	ラブオール(B)	STC(B)	卓愛会B	さつき会(C)	

令和6年度定期総会終わる



令和6年度定期総会は、3月10日 センター会議室において開催された。出席代議員25名。委任状48で総会は成立し、事業報告、収支決算報告等が執行部から行われ、また令和7年度の事業計画、予算が提案されました。

東京選手権出場奮闘記

港区杉卓会 芝崎 賢次



港区からご推薦頂き第77回東京選手権に出場しました。

予選を勝ち抜いた各県代表者によるあこがれの大会、初出場の私は震えて卓球出来なかつたらどうしよう、港区の恥になるようなゲームは許されないととても不安でした。

試合前の練習どうしようと思い、予選会を勝抜き見事東京代表に選出された渡辺敬生さんに相談すると気持ち良く引受けてくれ大分落着

きました。

岡本昌治さんから「アドバイザー」づけるかは自由、ワッペンが配布される、申請不要」と教えてもらい大会近く、安本隆さんと西宮澄子さんから「選手証は連盟に届いている、忘れないように」、鶴岡功さんから「応援に行く、練習は出来るので誰か連れて行け」、植草貴弘くんは対戦相手の動画を探してくれ、木村清二さんは審判用線でアドバイスと模擬試合。審判になり「ユニホーム、ラケット確認」「サービス出す前にいつたん静止」お相手してくれた三上晃弘さんも「タイムアウト」などと調子を合わせてくれて本番が待ち遠しくなりました。

当日は曇り空、午後は雪模様の寒い朝でしたが館内は過ごしやす

きました。



ミズノスポーツメントール賞受賞決定

理事長 福島 友子



えました。

この度は大変立派な賞を頂くに至り、地元でささえて下さった港区卓球連盟の皆様に心から感謝を申上げます。

一ミズノスポーツメントール賞とは

(公財)ミズノスポーツ振興財団では、(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本オリンピック委員会と共に制定したもので、この賞は、我が国の競技スポーツおよび地域スポーツにおいて選手の強化・育成ならびに地域スポーツの普及・振興に貢献した指導者を顕彰するとともに、優秀な指導者の育成を目的としたもので、2024年度で35回目となります。

運営委員 鈴木平一氏 逝く



平成18年度から令和元年度まで当連盟の理事を12年間、それ以降は運営委員として5年間、長年にわたりご協力頂いた鈴木平一さんが2月25日ご逝去されました。

鈴木さんは港区卓球実技指導員としても、卓球教室等で活躍され、温厚な指導・アドバイスには多くの方々から親しまれておりました。ここに哀悼の意を捧げ、安らかにご永眠されますよう 心よりお祈り申し上げます。長年有難うございました。 合掌

当連盟の理事を仰せつかり早二十年が経過しました。

新設のジュニア大会のため中体連や高体連の試合会場に足を運び、在港区の中高の先生方を探し大会要領を渡したり、学校に届けたり奔走していた頃が懐かしく思い出されます。

東京都スポーツ協会のジュニア育成事業にも港区ではいち早く手を挙げ、13年目を迎